

2024年度 日本気象学会東北支部第2回理事会 議案

日時：2025年3月4日（火）10時

議題

議題1. 2024年度事業報告.....	2
(1) 東北支部理事会の開催.....	2
(2) 東北支部だより発行.....	2
(3) 東北支部気象講演会.....	2
(4) 東北支部気象研究会.....	3
(5) 日本気象予報士会東北支部と連携した活動（気象サイエンスカフェ東北）.....	4
(6) 日本気象学会小倉奨励賞などへの推薦.....	4
議題2. 2024年度会計報告.....	5
議題3. 2024年度会計監査報告.....	6
議題4. 2025年度事業計画案.....	7
(1) 東北支部理事会の開催.....	7
(2) 東北支部だより発行.....	7
(3) 東北支部気象講演会.....	7
(4) 東北支部気象研究会.....	8
(5) 日本気象予報士会東北支部と連携した活動（気象サイエンスカフェ東北）.....	9
(6) 日本気象学会小倉奨励賞などへの推薦.....	9
議題5. 2025年度予算案.....	10
議題6. 支部長会議の報告と検討事項.....	11
(1) 支部長会議の報告.....	11
(2) 支部事務局業務の一部業者委託について.....	11
議題7. その他（事務局から）.....	12
(1) 東北支部会員数（個人会員）.....	12
(2) 旅費等について.....	12
日本気象学会東北支部規則.....	14
日本気象学会東北支部細則.....	15

議題 1. 2024 年度事業報告

(1) 東北支部理事会の開催

- ・ 第1回（対面とオンラインのハイブリッド開催 2024年6月25日）
- ・ 臨時理事会（2024年8月21日～9月20日、書面開催による）支部運営の在り方について
- ・ 臨時理事会（2024年12月12日～12月26日、書面開催による）支部発表賞について
- ・ 第2回（オンライン開催 2025年3月XX日）

(2) 東北支部だより発行

■第99号（2024年9月発行）

- ・ 支部長就任あいさつ
- ・ TOPIC 一筋縄ではいかない？全球雲解像気候モデリングの現状と今後：高須賀大輔（東北大学）
- ・ 2023年度 日本気象学会東北支部第2回理事会 議事抄録
- ・ 2024年度 日本気象学会東北支部第1回理事会 議事抄録
- ・ 日本気象学会東北支部第34期役員選挙結果について
- ・ 日本気象学会東北支部気象講演会のご案内
- ・ 第12回気象サイエンスカフェ東北の開催について
- ・ 東北支部「気象研究会」の開催案内と講演募集
- ・ 事務局からのお知らせ

■第100号（2025年3月発行）

- ・ TOPIC 気象レーダーによる精度の高い雨量推定を目指して：塚本尚樹（仙台管区気象台気象防災部長）
- ・ 報告1 2024年度 日本気象学会東北支部 気象研究会：東北支部事務局
- ・ 報告2 2024年度 日本気象学会東北支部 気象講演会：山形地方気象台
- ・ 報告3 第12回気象サイエンスカフェ東北の開催報告：岡前憲秀
- ・ 2024年度 日本気象学会東北支部臨時理事会 議事抄録：支部事務局の運営について
- ・ 2024年度 日本気象学会東北支部臨時理事会 議事抄録：支部発表賞について
- ・ 事務局からのお知らせ

(3) 東北支部気象講演会

日 時：2024年11月2日（土）13時30分～16時00分

会 場：山形県生涯学習センター 遊学館

テーマ：「極端化・頻発化する山形県の豪雨と防災対応・避難行動」

講演者：熊谷 誠 氏（国立大学法人 山形大学 地域教育文化学部 講師）

栃本 英伍 氏（気象庁気象研究所 台風・災害気象研究部 第二研究室 研究官）

参加者：会場参加 約50名

主催：日本気象学会東北支部 共催：山形地方気象台

後援：国土交通省山形河川国道事務所・山形県・山形市・山形大学・日本気象協会東北

支社・日本気象予報士会東北支部・地球ウォッチャーズ-気象友の会-
※2024年度は会場のみで開催

(4) 東北支部気象研究会

日 時：2024年12月2日（月）13時05分～17時15分

会 場：仙台第3合同庁舎 2階大会議室（仙台管区気象台）

講 演：14題

参加者：約50名（会場参加者）、その他Zoomによるオンライン配信も実施

※仙台管区気象台東北地方調査研究会と合同開催

気象研究会の発表演題、著者（敬称略、発表者に○）

なお、紙面の都合上、仙台管区気象台東北地方調査研究会の題目は省略

- 日本域長期領域再解析（RRJ-Conv）における線状降水帯の特徴
○島村優作、伊藤純至（東北大学理学研究科）、福井真、廣川康隆（気象研究所）
- MEPS クラスタリングとベイズ推定に基づく最適シナリオ選択のための台風統計調査
山口純平（仙台管区気象台 予報課）
- SCALE-LES を利用した MYNN モデルの経験的パラメータや関数形の検討
○尾前亮太郎、伊藤純至（東北大学理学研究科）
- ひろだい白神レーダーの観測データを用いた津軽地域の雪雲モードの解析
○多田直起（弘前大学大学院理工学研究科）、谷田貝亜紀代（弘前大学大学院理工学研究科）、池森凜（一般財団法人日本気象協会）
- 広域（一次細分区域）を対象とした深層学習による濃霧画像の判定モデル開発
間野正美（仙台管区気象台）
- 岩手県の西風暴風WS改良に向けた検討 一暴風発現時の特徴一
○山川大希、横田紘弥（盛岡地方気象台）
- おろし風レジーム図を応用した八戸暴風予測アプリの開発
菅原海大（青森地方気象台）
- JMA/NHM を用いた 2023 年 7 月 14 日から 16 日にかけての秋田県の大雨のシミュレーション
○熊谷真琴（弘前大学理工学部）、谷田貝亜紀代（弘前大学大学院理工学研究科）
- 弘前における降水と水蒸気の安定同位体比変動 一爆弾低気圧に伴う降水の水蒸気源解析一
○谷田貝亜紀代（弘前大学大学院理工学研究科）、上野優（日本気象協会）、芳村

圭（東京大学生産技術研究所）、Hayoung Bong（NASA/GISS）、川代迅（日本気象協会）、前田未央（弘前大学大学院理工学研究科）、Yang Yan（東京大学生産技術研究所）、大堀楓河（弘前大学理工学部）

日本気象学会東北支部発表賞の今年度の受賞者は以下のとおり。

2024年度気象学会東北支部発表賞

- 島村優作（東北大学）
「日本域長期領域再解析（RRJ-Conv）における線状降水帯の特徴」
- 菅原海大（青森地方気象台）
「おろし風レジーム図を応用した八戸暴風予測アプリの開発」

（5）日本気象予報士会東北支部と連携した活動（気象サイエンスカフェ東北）

日 時：2024年12月21日（土）13時00分～15時30分

会 場：仙台第3合同庁舎 2階大会議室（仙台管区気象台）

テーマ：「線状降水帯を知る、シミュレーションにトライする」

話題提供者：伊藤 純至 氏（東北大学理学研究科 准教授）

参加者：会場参加 25名

共 催：日本気象学会東北支部、日本気象予報士会東北支部、東北大学理学研究科気象学・大気力学分野、仙台管区気象台

後 援：日本気象協会東北支社、地球ウォッチャーズ-気象友の会-

（6）日本気象学会小倉奨励賞などへの推薦

議題2. 2024年度会計報告

〔支部一般会計〕(2024年4月1日～2025年2月17日) (マイナスの金額には、△印を付した。)

	予算額	決算額	差異 [予算-決算]
I 収入の部			
事業活動収入			
本部交付金			
一般交付金(仮名)	528,800円	528,800円	0円
普及啓発活動への助成	40,000円	40,000円	0円
減額分	△68,800円	△68,800円	0円
気象予報士会東北支部分担金	10,000円	10,000円	0円
前期繰越金	125,649円	125,649円	0円
事業収入(広告料等)	0円	0円	0円
雑収入			
預金利息	5円	77円	△72円
事業活動収入計(1)	635,654円	635,726円	△72円
II 支出の部			
事業活動支出			
事業費支出			
支部気象講演会	180,000円	73,820円	106,180円
支部気象研究会	50,000円	60,170円	△10,170円
支部だより	200,000円	*120,428円	79,572円
気象サイエンスカフェ東北	60,000円	105,860円	△45,860円
ホームページ運営費	15,000円	15,000円	0円
管理費支出			
支部理事会	50,000円	26,350円	23,650円
支部役員選挙	30,000円	25,248円	4,752円
事務費	10,000円	16,824円	△6,824円
事業活動支出計(2)	595,000円	443,700円	151,300円
III 予備費支出			
予備費支出	40,654円	0円	40,654円
予備費支出計(3)	40,654円	0円	40,654円
当期収支 (A)=(1)-(2)-(3)	0円	192,026円	
次期繰越額 (A)-(残りの支出予定額)	0円	192,026円	

*1東北支部だより99号の印刷代・送料のみ。

黄色塗りつぶしは、今年度まだ事業(支出予定)が残っているもの。

議題3. 2024年度会計監査報告

預金通帳、領収書を照合の結果、誤りが無いことを認めます。

2025年2月17日
日本気象学会東北支部会計監査

武田新一 

議題4. 2025年度事業計画案

(1) 東北支部理事会の開催

- ・例年は年2回（5～6月、2～3月頃予定）開催している。
- ・議論が必要な場合は、適宜臨時理事会を開催する。

(2) 東北支部だより発行

- ・年2回発行(第101号、102号)の予定。
- ・支部だより第99号で支部だよりのペーパーレス化について意見照会を行ったが、意見等なかった。2025年度からは郵送を取り止め、電子ファイル版を支部ホームページへ掲載し、会員の皆様には、支部メーリングリストを使用してお知らせすることとする。
- ・作業簡略のため、発行作業は原稿のとりまとめまでとし、編集については、業者発注とする。

(3) 東北支部気象講演会

日 時：未定
 会 場：未定
 テーマ：未定

- ・2025年度は福島県で開催予定、テーマ等は未定。今後準備を進めていく。

2010年度以降の開催状況

年度	開催地	講演者		
2010年度	秋田市	栗田 邦明 (秋田地方気象台)	佐藤 威 (雪氷防災研究センター)	
2011年度	盛岡市	岩崎 俊樹 (東北大学)	神田 英司 (東北農業研究センター)	
2012年度	山形市	阿部 修 (雪氷防災研究センター)	柳澤 文孝 (山形大学)	
2013年度	弘前市	楠 研一 (気象研究所)	児玉 安正 (弘前大学)	
2014年度	福島市	渡邊 明 (福島大学)	小畑 英樹 (福島地方気象台)	
2015年度	仙台市	岩崎 俊樹 (東北大学)	小森 大輔 (東北大学)	廣川 康隆 (仙台管区気象台)
2016年度	盛岡市	山本 浩之 (盛岡地方気象台)	名越 利幸 (岩手大学)	
2017年度	秋田市	和田 幸一郎 (秋田地方気象台)	本谷 研 (秋田大学)	
2018年度	山形市	小杉 健二 (新庄雪氷実験所)	川瀬 宏明 (気象研究所)	

2019年度	弘前市	加藤 輝之 (気象大学校)	木所 英昭 (東北区水産研究所)	
2020年度	仙台市 (web開催)	岩井 弘樹 (仙台管区気象台)	早坂 忠裕 (東北大学)	
2021年度	福島市 (web開催とのハイブリッド)	小野寺 晃一 (福島地方気象台)	安達 義輝 (福島県農業総合センター)	吉田 龍平 (福島大学)
2022年度	盛岡市 (web開催とのハイブリッド)	ト部 佑介 (仙台管区気象台)	晴山 久美子 (岩手県)	
2023年度	秋田市	増本 隆夫 (秋田県立大学)	廣川 康隆 (気象研究所)	
2024年度	山形市	熊谷 誠 (山形大学)	栃本 英伍 (気象研究所)	

方針：気象講演会は原則として「持ちまわり」で開催する。ただし、他のイベント等との同年開催については配慮を行うとともに、会員等からの開催・運営の意向があった場合、宮城県等他県での開催も可能とし、担当理事がこれを調整する。なお開催地を変更する場合は、準備の都合上、開催前年度の第2回理事会前（例年2月～3月）に東北支部事務局へ通知することとする。

令和3年3月に気象台内で防災気象講演会と気候講演会が統合されたこと、各地方気象台でなるべく講演会が連続開催にならないように調整されたことがあり、下表はそれを反映させたものとなっている。

来年度以降の気候講演会の開催について、下表のとおり開催していきたい。

講演会まとめ

- 防災気象講演会(5年に1回ペース) → ★ 防災気象講演会と気候講演会を統合した講演会
- ◎ 気候講演会(本庁から講師出張)
- ◆ 気象学会の気象講演会

年度	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R01	R02	R03	R04	R05	R06	R07	R08	R09	R10
青森	◎	■		◎		■			◎	□			★			☆				
盛岡	○	○	○	◎	◆		■		◆		※						☆			◇?
秋田	○	◎	◆			■		◆		□				◆					☆	◇?
仙台	■	■		■	■	■	■	■	■	■	■	※	※	□	☆	□	□	□	□	□
山形		◎		○		◎		■			◎				☆					☆
福島	■			◆		■			■	◆		◎				◆				☆
	○				◆		◎					◎					◆			

※R02年度、R03年度はコロナ禍の影響により防災気象講演会は開催されなかった。
またR03年度以降は地台で開催される防災気象講演会と気候講演会は統合されることとなった。

(4) 東北支部気象研究会

2025年度の開催については、仙台管区気象台地域防災推進課と検討し、気象台の東北地

方調査研究会と東北支部気象研究会の合同発表会の形式で行うことを計画する。
併せて、日本気象学会東北支部発表賞の選考・授賞も行う。

(5) 日本気象予報士会東北支部と連携した活動（気象サイエンスカフェ東北）

日 時：未定

会 場：未定

テーマ：未定

- ・第13回気象サイエンスカフェ東北を開催する。テーマや講師等は、日本気象予報士会東北支部と連携して検討を行う。

(6) 日本気象学会小倉奨励賞などへの推薦

議題5. 2025年度予算案

〔支部一般会計〕（※マイナスの金額には、△印を付した。）

	2025年度 予算額	2024年度 予算額	予算増減額 [2025年—2024年]	2024年度 決算額
I 収入の部				
事業活動収入				
* ² 本部交付金				
一般交付金(仮名)	* ¹ 528,800円	528,800円	0円	528,800円
普及啓発活動への助成	40,000円	40,000円	0円	40,000円
減額分	△68,800円	△68,800円	0円	△68,800円
気象予報士会東北支部分担金	* ³ 10,000円	10,000円	0円	10,000円
前期繰越金	192,026円	125,649円	66,377円	125,649円
事業収入(広告料等)	0円	0円	0円	0円
雑収入				
預金利息	77円	5円	72円	77円
事業活動収入計(1)	702,103円	635,654円	66,449円	635,726円
II 支出の部				
事業活動支出				
事業費支出				
支部気象講演会	90,000円	180,000円	△90,000円	73,820円
支部気象研究会	50,000円	50,000円	0円	60,170円
支部だより	100,000円	200,000円	△100,000円	120,428円
気象サイエンスカフェ東北	70,000円	60,000円	10,000円	105,860円
ホームページ運営費	15,000円	15,000円	0円	15,000円
支部事務局業務委託費	200,000円	0円	200,000円	0円
管理費支出				
支部理事会	50,000円	50,000円	0円	26,350円
支部役員選挙	0円	30,000円	△30,000円	25,248円
事務費	5,000円	10,000円	△5,000円	16,824円
事業活動支出計(2)	580,000円	595,000円	△15,000円	443,700円
III 予備費支出				
予備費支出	122,103円	40,654円	81,449円	0円
予備費支出計(3)	122,103円	40,654円	81,449円	0円
当期収支差額 (A)=(1)-(2)-(3)	0円	0円	0円	192,026円

*¹一般交付金は、人頭割額(178,800円)と一律額(350,000円)の合計。

*²本部交付金は、2024年度並の金額(500,000円)を想定。10万単位で交付され、一般交付金(528,800円)と普及啓発活動への助成金(40,000円)の合計から、概ね繰越金に相当する減額分(68,800円)を引いた額に相当。

*³2025年度気象予報士会東北支部分担金は予定。

黄色塗りつぶし部分は、予算削減項目及びその影響部分を示したもの。

青色塗りつぶし部分は、2025年度の支部事務局の業務について、業者委託を想定した業務委託費を計上したもの(札幌支部での委託費金額を参考)。

議題6. 支部長会議の報告と検討事項

(1) 支部長会議の報告

日時：令和7年1月30日(木) 13時～15時

場所：オンライン

出席：本部理事、各支部長等

概要

・3つの議題（①2024年度支部活動報告／2025年度支部活動計画、②秋季大会の取組状況、③その他支部の運営の在り方について）を議論した。

・①2024年度支部活動報告／2025年度支部活動計画では、予報士会との連携について確認があった。气象台では予報士会や防災士会と共同で行事等対応することがあり、常日頃から連携はとれていることを報告した。今回のサイエンスカフェでは東北大学の伊藤先生に講師をお願いしていたため、予報士会が前面に出ていなかったことで本部から確認があった。

・②秋季大会の取組状況では、九州支部より秋季大会の準備状況の説明があった後、2027年度以降の大会のあり方について説明があり、大会開催の順番について以下のとおり案が提示された。2025年度九州、2026年度関西、2027年度つくばB（筑波大・環境研・千葉大）、2028年度中部、2029年度北海道、2030年度東京A（東大理・東大先端研・都立大・極値研）、2031年度東北、2032年度つくばA（気象研・東大大気海洋研）、2033年度九州、2034年度東京B（JAMSTEC・横国大・防大）、2035年度関西、2036年度つくばBの順。

・③その他支部の運営の在り方については、各支部から実情について報告があり、会計管理、経理管理を可能な範囲で本部が担当してほしいという意見があった。これについて、本部からは事務局で業務整理をしながら本部で一括して業務委託とかも考えられるとのコメントがあった。また、秋季大会については、支部で大会実行委員会の立ち上げが必要だが、支部の状況に合わせて身の丈に合った活動を行うことを考えていくとコメントがあった。

(2) 支部事務局業務の一部業者委託について

支部事務局の作業負担軽減のため、北海道支部のように事務局業務の一部業者委託を考えており、以下の①～③のとおり推し進めることとした。①については、今年度の東北支部第1回理事会で了承いただき、②と③について進めてきたところである。

- ① 事務局業務を一部業者委託していくことの方向性について、ご了承いただきたい。
- ② 事務局業務について対応出来る業者から見積りを取得する。
- ③ 業者委託が実現可能となるよう経費削減について工夫する。

これを推し進めるため、事務局では以下を考えている。

- ・支部だよりのペーパーレス化（編集作業、PDF化までを業者委託）
- ・今年度の気象講演会のポスター・チラシの印刷取り止め・電子ファイル化

支部だよりのペーパーレス化により、これまでの予算を半分程度に削減できる。また、気象講演会のポスター・チラシのペーパーレス化により、数万円ほど予算が削減でき、削減分を事務局業務の業者委託へ回せることとなる。

なお、支部事務局では、事務局業務の見積り取得に向けて、事務局業務のパッケージ化を検討しているところであるが、予算面も考慮し、現在一社へ打診している。どのようなことが対応可能か、対応可能な業務についてどのくらいの見積りになるのか確認しているところである。この回答をいただいてから、事務局業務の業者委託の詳細について検討していきたい。

議題7. その他（事務局から）

（1）東北支部会員数（個人会員）

2025年2月13日現在

県名	会員数 2025. 2. 13	会員数 2024. 6. 17
青森県	22名	15名
岩手県	9名	11名
秋田県	10名	13名
山形県	10名	10名
宮城県	71名	74名
福島県	26名	26名
合 計	148名	149名

1名減

支部メーリングリスト登録者数

2025年2月13日現在

県名	登録者数 2025. 2. 13	登録者数 2024. 6. 17
青森県	21名	14名
岩手県	7名	9名
秋田県	10名	13名
山形県	8名	8名
宮城県	70名	73名
福島県	23名	22名
合 計	139名	139名

増減なし

（2）旅費等について

交通費については

青森は 22,900円 [11,420円×2]

弘前は 23,300円 [11,640円×2]

秋田は 21,000円 [10,460円×2]

盛岡は 13,600 円 [6,790 円×2]

山形は 2,400 円 [1,170 円×2]

福島は 2,700 円 [1,340 円×2]

仙台、岩沼は片道 500 円をお願いします。

※100 円未満の端数は切り上げています。

なお、支部活動における旅費の支給は、上記に準ずるものとします。

日本気象学会東北支部規則

昭和 32. 5. 26	成立
昭和 32. 7. 5	第 8. 11 条を改正、 第 15~19 条を追加
昭和 40. 11. 18	第 8 条を改正
昭和 56. 10. 12	第 2 条を改正
昭和 60. 3. 19	第 9 条を改正
平成 2. 6. 21	第 8 条を改正
平成 6. 2. 28	第 8. 9. 12. 14. 18 条を改正
平成 9. 6. 3	第 2 条を改正
平成 22. 6. 11	第 8 条を改正
平成 25. 6. 20	第 1. 2. 18 条を改正
平成 27. 3. 12	第 18 条を改正
平成 28. 2. 29	第 13 条を改正
令和 5. 7. 4	第 13 条を改正

- 第 1 条 本支部は公益社団法人日本気象学会東北支部という。
- 第 2 条 本支部は事務所を仙台市宮城野区五輪一丁目 3 番 15 号第 3 合同庁舎、仙台管区気象台内に置く。
- 第 3 条 本支部は東北 6 県に在住する全ての日本気象学会員で構成される。
- 第 4 条 本支部は日本気象学会の定款の範囲内で事業を行うが、特に支部会員の研究の奨励、推進ならびに相互の連絡につとめることを目的とする。
- 第 5 条 本支部は前条の目的を達成するために、講演会ならびに学術的会合の開催、その他この支部の目的にかなう事業を行う。
- 第 6 条 本支部の事業年度は毎年 4 月 1 日にはじまり、翌年 3 月 31 日に終わる。
- 第 7 条 本規則の実行に必要な細則は、支部理事会の決議によって別に定める。
- 第 8 条 本支部に次の役員を置く。
理事 8~11 名（常任理事 2~8 名内支部長 1 名）、会計監査 1 名。
- 第 9 条 理事および会計監査は支部会員の選挙によって定める。
ただし、任期中に欠員が生じた場合は細則の定めるところによって補充する。
- 第 10 条 支部長および常任理事は理事の互選によって理事の中から定める。
- 第 11 条 支部長はこの支部を代表して会務を総理する。支部長に事故があるとき、または欠けたときは、支部長があらかじめ指名した常任理事がその職務を代行する。
- 第 12 条 理事はこの支部の会務を行う。会計監査は支部の会計を監査する。
- 第 13 条 支部長は必要に応じ、会務の一部を処理するため幹事を置くことができる。
- 第 14 条 理事および会計監査の任期は 2 年とする。ただし、重任は妨げない。
理事および会計監査は任期満了後も後任者の就任するまでその職務を行う。
- 第 15 条 支部長は毎年 1 回および必要に応じて理事会を招集する。
- 第 16 条 理事会は過半数の理事の出席がなければ成立しない。
- 第 17 条 支部長は次の事項を理事会の承認を得て会員に報告しなければならない。
(1) 事業計画および収支決算
(2) その他理事会において必要と認めた事項
- 第 18 条 本支部の経費は本部交付金（支部強化基金を含む）と寄付金とする。
- 第 19 条 この規約は理事の 3 分の 2 以上の賛成を得なければ変更することができない。

付則

- 第 20 条 この支部の設立当初の役員は設立準備会でこれを選任する。

以上

日本気象学会東北支部細則

昭和 33.	7. 5	成立
昭和 40.	11. 18	1 項を改正
昭和 41.	3. 15	7 項を改正
昭和 60.	3. 19	12、13、14 の各項を改正
平成 6.	2. 28	1、8、9、12、13 の各項を改正
平成 22.	6. 11	1 項を改正
平成 27.	3. 12	1 項を改正
令和 1.	7. 10	日本気象学会東北支部発表賞の条項を追加

1. 理事選挙

- 1 理事は東北地区在住の会員より 8～11 名選出する。このうち在仙理事 5～8 名、地方理事若干名とする。
会計監査は東北地区在住の会員より 1 名を選出する。
- 2 次期理事の定数および在仙・地方別理事数は理事会で決定する。
- 3 候補者は理事会の推薦者および立候補者とし、投票締切日の 20 日前までに決定のうえ、会員に周知させるものとする。
- 4 立候補者は投票締切日の 30 日前まで支部長宛に届け出るものとする。
- 5 投票は無記名連記とする。ただし、連記数は第 2 項の決定による在仙・地方別理事数とする。
- 6 投票は文書投票とする。
- 7 有効投票により、各地区別に投票の多い順に次期理事を決定する。同数の場合は年少者を上位とする。ただし、得票数が有権者の 10 分の 1 に満たない者は理事に就任することができない。次点者も同様とする。
- 8 当選者が理事および会計監査就任を辞退した場合は次点者を繰り上げる。
- 9 理事および会計監査に欠員が生じた場合の補充は次点者をあてる。
- 10 開票は常任理事立ち会いのもで行う。
- 11 開票の結果は会員に報告する。
- 12 理事および会計監査に欠員を生じ、第 9 項による補充ができない場合は、理事会の推薦によって補充する。
- 13 第 9 項または第 12 項による補充理事および会計監査の任期は前理事および会計監査の残存期間とする。
- 14 そのほか選挙にあたって必要事項は支部長が決定し、事後に理事会に報告する。

2. 日本気象学会東北支部発表賞

- 1 日本気象学会東北支部発表賞（以下「支部発表賞」という。）受賞者を選定するため、支部発表賞候補者推薦委員会を設ける。
- 2 委員会は支部常任理事および支部長が指名した支部会員をもって組織する。
- 3 委員会は、支部研究発表会において優れた講演を行った支部会員から、原則として 2 名程度を選び、受賞者を支部理事会に推薦する。原則、半数以上を学生会員とする。ただし、委員は受賞対象とはならない。
- 4 支部発表賞は賞状・副賞（賞金）とし、これを受賞者に贈呈する。

以上